



22年度の重伝建補助事業完了

平成22年度の重要伝統的建造物群保存地区保存事業4件は3月までに完了しました。修理前と修理後の外観写真を紹介します。（ホームページではカラー写真でご覧いただけます）香取の2件は茶屋町、鹿島の2件は商家町の表構えが復活し、昔を思い出させてくれます。

播摩様主屋（小浜香取）



工事前



工事後

屋根瓦葺替え
柱、壁の傾斜を補正
側面外壁はトタン張りから板材に張替え
玄関と二階窓はアルミサッシ戸から木製建て
具に取替え
出格子、木部の塗り替えを行いました。

河野様主屋（小浜香取）



工事前



工事後

屋根瓦葺替え
庇の杉皮の葺替え
玄関はアルミサッシ戸から木製建具に取替え
一階、二階共木部の塗り替えを行いました。

松宮様土蔵（小浜鹿島）



屋根瓦葺替え
土台、柱の取替え
外壁修理（土壁、シックイ塗り直し、板材張り替え）
アルミサッシ戸で囲ってあった土蔵の扉はみごとくに修理されました。

河原様主屋（小浜鹿島）



屋根瓦葺替え
表構えはアルミサッシ戸からすりあげ戸、大戸、残りは格子戸
二階窓はアルミサッシ戸から木製建具に取替え
窓格子のはめ込み
木部の塗替えを行いました。

市の文化遺産活用課では平成24年度の重伝建補助金を活用して修理事業を希望される方を募集しています。少しでも興味のある方は応募してください。どんなことでも相談にのってくださいます。（文化遺産活用課 野瀬さんまで）

要望書に対する進捗状況

小浜西組町並み協議会は昨年7月、小浜市長に要望書を提出しました。

①主要道路の整備について ②小浜小学校の跡地の利用 ③小浜ロツジ跡地の利用
④防災設備の整備・充実についての進捗状況を文化遺産活用課におききしました。

①主要道路の整備について

市では、現在、若狭町と共同で、今年度までの3カ年をかけて、文化庁からの

委託で文化財総合的把握モデル事業を実施しています。この事業により策定する歴史文化基本構想・保存活用計画をもとに歴史的風致維持向上計画を策定し、国土交通省・農林水産省・文化庁の認定が得られれば歴史まちづくり法による補助事業が実施可能となります。今後、この国の補助金を活用し、重伝建地区の整備を進めていきたいと考えています。

整備事業内容および優先道路等、詳細については、協議会からの要望も踏まえ、市役所庁内関係各課の職員で構成する、まちなみ保存整備チーム等により協議を重ねているところです。

②小浜小学校跡地の利用

旧小浜小学校跡地は、平成18年度から今年度まで、国の補助事業による発掘調査を実施し、武田氏館の堀跡の範囲および建物跡の詳細を確認しています。

平成23年度には今年度発掘された遺物の整理を行い、これまでに確認しているデータを取りまとめ、文化庁へ報告する予定です。

今後の利活用については、後瀬山城跡の範囲を拡大する追加指定も視野に入れ、今後十分検討していきます。

③小浜ロッジ跡地の活用

小浜ロッジの建物は既に取り壊され、現在、跡地および小浜公園周辺の活用策について調査を実施中です。今後、住民のみなさんのご意見を伺いながら今年度中に整備計画を策定し、来年度以降、この計画に基づき事業が実施されることとなります。

④防災設備の整備・充実について

防災設備等の整備については、現在、小浜西組伝統的建造物群保存地区の防災計画を策定しており、先に実施した防災ワークショップの結果も反映し、今年度中にまとめる予定です。この計画に盛り込まれるハード事業については道路等の整備計画と同様に国の補助事業を活用して進めていきたいと考えています。

小浜西組町並み協議会からの **活動報告とお知らせ**



地域活性化部会より

- 一門一灯のあんどんを200個作りました。多数の申込みをお待ちしています。1個1500円です。(コード付きのコンセント式)
お申込先…佐野(浅間区) ☎090-8969-4232
又は 町並み保存資料館 ☎53-3443まで



企画運営部より

- 2月23日(水)～3月14日(月) 雛飾り展と浦松艶子さんの押絵展を行いました。期間中、約250名の方に御来館いただき終了させていただきました。
- 時間が変わります
4月1日から町並み保存資料館の開館時間が午前9時～午後5時となります。

投稿コーナー



「三丁町に住んでいます」これは私が自己紹介で必ず言う言葉だ。小浜に初めて来たのはたしか10年前だった。大学で都市工学を学んだのがきっかけで、色々な町を見てみたくなった。特に西組周辺には古い町並みが良く残り、感動した覚えがある。その地に住めるなんて！ 今や「三丁町」は、私にとって自慢できるブランド品みたいなものだ。

私は同じく古い町並みの残る嶺北の三国町生まれである。大学に入学し、その後就職してから10数年東京にいた。都市計画や都市デザインのコンサルタントとして、地域の個性を生かしたまちづくりの企画提案を専門としていた。そこで積んだ経験や知識を、故郷福井のために生かしたかったので福井県に転職し、小浜に配属された。

新天地で仕事をする事となり、去年の4月に東京を離れて、妻と娘と飛鳥区に暮らし始め、そろそろ1年になる。

小浜はよいところだ。背後には山がそびえ、海もすぐそこというリアス式海岸の独特の地形と町並みが融合している。城下町の町割りや、趣のある古い町並みが残る風景や、たくさんの寺社が点在する寺町の雰囲気は、歴史の奥行きを感じさせてくれる。旧市街地は車の通りも少なく、通りのスケールもまちの規模も散歩にちょうどよい。

また、海だけではなく山の幸も味わえるなど、食も幅広い。町内のコミュニティの一員として放生祭や地蔵盆などの伝統行事に参加できるのは貴重な体験だ。海までちょっと足を伸ばせば釣りができる生活も気に入っている。残念ながら小さなアジしか釣れたことはないのだが……。

さて、何か提言をとということなので、^{せんえつ}僭越ではあるがいくつか挙げたい（紙面に限りがあるため、詳しくはまた別の機会にさせてほしい）。

一つには、山や海といった小浜の良さを生かした、小浜らしい町並みづくりのルールをつくってはどうか。また、歴史的に重要な資源の周り（八幡神社参道、三丁町など）から重点的に空間を整備し、戦略的にまちづくり、都市デザインの展開を図ってみてはどうか。

とにかく、地形や歴史に裏打ちされた“ホンモノ”の部分をアピールすることで、もっともっと「西組」、「小浜」は魅力的になると思う。私も微力ながら協力できたらと思っている。